

ちくさええとこ通信

令和3年 祝ちくさ成人を祝う会

No.18

2021.1.15発行



祝
成人



宍粟市立千種小学校 卒業記念写真 平成25年2月

1月2日にセンターちくさで「成人を祝う会」が開催されました。ご成人おめでとうございます。

発行者 千種まちづくり推進委員会 兵庫県宍粟市千種町千草 59-1 TEL・FAX 0790-71-0230



ちくさ杉の子こども園



今年のクリスマス会は前日からみんなで準備をして、サンタさんが来てくれることを待っていました。残念ながらサンタさんは忙しくて会えなかったのですが、夜のうちに手紙とプレゼントを持ってきてくれていました。クリスマス会では、高校生（就業体験）にうさぎの耳を作ってもらい「うさぎ野原のクリスマス」の曲に合わせて踊ったり、ドキンちゃんサンタにプレゼントを渡してもらったりして、大喜びの子ども達でした。

みんなで、遊戯室にセッティング!



オープニングはメロン組(5歳児)の合奏♪
きらきら星♪



プレゼント



おこたひに♡



ありがとう♡



土のお布回かけますよ!

春には、きれいな花が咲くように、3・4・5歳児はチューリップの球根や花を寄せ植えしました。たくさんの種類のチューリップだったので、選ぶことも楽しんでいました。



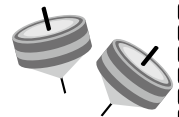
とれっ!ちくさかな?



ちくさを学ぶ ちくさで学ぶ

「ちくさの人やもの」とかかかって学び
「ふるさと千種」を愛する心を育てています

千種小学校



2学期も引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「千種っ子新しい学校生活様式」に沿って子どもたちは学びを進めています。修学旅行や自然学校、運動会などは縮小の形で行われ、園小中高合同での文化祭やマラソン大会は中止を余儀なくされました。そんな中、授業形態に気を配りながら学年単位での地域学習や体験学習に取り組んできました。今回は地域の方に指導していただいた2つの体験学習を紹介します。



☆大正琴指導 (11/4・6)

黒土に在住の平田安子さんに音楽の授業の一環として、大正琴の指導をしてもらいました。新学習指導要領の中で、高学年から取り上げる旋律楽器として例示されていた和楽器が、新たに中学年から位置づけられるようになりました。昨年に引き続き、1年ぶりの大正琴演奏を子どもたちはとても楽しみにしていました。学年に応じて曲の演奏に一生懸命に取り組みました。



☆紙すき体験 (10/27・11/2)

河内に在住の吉留新一さん(播州ちくさ手漉和紙工房)の指導で、4年生と6年生が紙すき体験を行いました。毎年、子どもたちにもよく分かるように和紙づくりのことや作業工程について説明していただきます。先人たちの知恵や工夫を感じつつ一生懸命に作業に取り組みました。



わ
れ
ら
ち
く
さ
っ
子



2学期が終了しました!

千種中学校

例年になく早く始まった2学期でしたが、コロナ禍の影響にも負けず元気いっぱい学校生活を送ることができました。

新型コロナウイルスだけでなく、これからはインフルエンザの流行期にもなります。毎日の手洗い・マスク着用・三密を避けて行動することを忘れずに健康に過ごしてほしいと思います。



10月4日(日)、中高合同体育祭が開催されました。今年度はコロナ禍で午前中開催というプログラムでしたが、全校生で心をつにし、最高の体育祭を創りあげることができました。リレーや学年対抗競技では、高校生にも負けない走りやパフォーマンスを見せてくれました。例年にはない体育祭でしたが、普段の学校生活では見ることができない表情をたくさん見ることができました。

10月16日(金)、2年生でたたら製鉄学習がありました。夏休みの砂鉄採取から始まり、準備を進めてきた、たたら製鉄でした。当日は天気も良く、生徒たちは2班に分かれて製鉄作業をしました。実際に炉に砂鉄を入れる瞬間は緊張しているようでした。昔は鉄を作るのも一苦労だったということや、自分たちの住んでいる地域にこのような珍しい歴史があることを身をもって体験できました。



千種高校

ライフル競技 全国大会へ

千種高校ライフル射撃部2年、秦陽乃が昨年11月男女混合の近畿大会のチームライフル競技で3位に入り、3月に熊本県で開催される全国大会への出場権を獲得しました。秦さんの強さの秘密は、人が見ていようが見てなかりが関係なく日々のトレーニングを黙々とこなす芯の強さと集中力の高さ、そして大きな舞台でも緊張しない強心臓が武器です。県大会で624.5点という全国大会でも入賞できる高得点をマークしており、持ち前の集中力と強心臓で全国の強敵に挑みます。ご声援、よろしくお願い致します。



★ちくさっ子 頑張っています!!★



《ちくさ少女バレーボールクラブ》

10月31日(土)、上月体育館(ホタルドーム)で、【第29回ビスラカップ少女バレーボール大会】が開催されました。予選リーグを3位で通過したちくさ少女バレーボールクラブは、決勝トーナメント(下位リーグ)に進出し、見事、準優勝に輝きました。

今年度は、高学年が少ないチーム構成ですが、みんながとても仲良く、日々の練習に切磋琢磨して取り組んでいます。ぜひ、見学に来てくださいね!

(6年2名・4年1名・3年3名・2年2名・1年1名 計9名)



《ちくさランニングクラブ》

9月27日(日)、太子町総合運動公園陸上競技場で【2020年度 西播磨地区陸上クラブ交流大会】が開催されました。ちくさRCから、男子7名・女子6名が14種目に出場しました。

日々の練習の積み重ねが、それぞれの素晴らしい結果に繋がり、クラブ対抗で男子『優勝』、女子『3位』、総合の部で『優勝』を果たしました。

今回の優勝は、コロナの影響で出場できなかった子も含めて、16名のメンバー全員で勝ち取ったものです。これからもみんなで頑張っていきたいと思います。



地域起こし協力隊 紹介



地域再生協働員 岩本 光晃

【自己紹介】

神戸市出身で「宍粟市地域おこし協力隊」として千種町（鷹巣）で3年間活動を行い、その後「宍粟市地域再生協働員」のお話をいただき、千種まちづくり推進委員会・千種町商店街連合会の下で活動しています。

【主な活動】

千種商店街連合会役員の方々と話し合う中で出来た「千種商店街（地域）をできるだけみんなが、ニコニコと暮らし続ける場所にする。」という目標を実現させるために、「内側からの賑わい（例えば地域の方々が、関わり・参加する事が出来る集まりや催し物など）」・「外側からの興味関心（例えばSNSを活用した、千種町の魅力や情報発信など）」を造る活動や、それらに関係する活動をしています。

【将来の事について】

「千種町に骨になるまで住み続ける」と決めて、そのためには今何をすればいいのか？を日々考えて生活しています。「お金を稼ぐ事は何が出来る？」「田舎での生活の進め方は？」「将来のパートナーは？（コレが一番難しそうですね（笑））」ご近所さんや地域の方々のお話を参考にし、形にしていながら、僕自身がやりたいと考えていること、いわゆる僕らしさを、混ぜ合わせたいですね。

これからもよろしくお願いします。



林 拓真

はじめまして、昨年10月1日より宍粟市地域おこし協力隊に参加しました、林拓真です。

宿泊施設、キャンプ場として生まれ変わった、たかのす東小学校を拠点に活動をしています。

主な活動の内容は、宿泊業務の補助、地域内外たくさんの方に鷹巣地域を知ってもらおう活動やイベントを企画することです。

着任して、約3ヶ月が経ちました。

生まれも育ちも西宮市なので、鷹巣に移住して初めての経験ばかりの中で、充実した毎日を過ごしています。

協力隊の3年間の活動の中で、宍粟市内でたくさんの繋がりを作り、生活基盤を整えて、移住をすることが目標です。

そして、宍粟市内で自分でキャンプ場を経営したいと思っています。

よろしくお願いします。

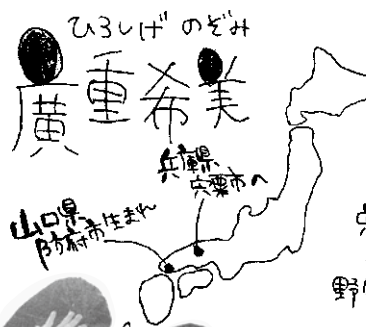


松下 幸広

12月から農産物生産加工組合に所属しております松下です。年齢は34歳、住居は岩野辺です。今まで農業の経験は家庭菜園で10種類程育てたことがあります。現在は千種の農家の方のお手伝いを中心に学ばせて頂いています。

私が地域に貢献するために掲げていることは1.「農産物と加工品の小規模・高品質生産」2.「農産物・加工品の販路確立」です。1については自分と家族を養える量の米・野菜を生産（有機栽培）すること。2は千種町高原野菜を中心に、宍粟市の生産者様が適切な利益を確保して頂ける農産物・加工品の通販サイトの立ち上げ、販売・流通システムの構築です。

また、鳥獣被害対策のため狩猟免許も取得予定です。地域おこし協力隊の任期は3年間となりますが、その期間に宍粟市に定住するための経済的な自立を目指し、今後宍粟市がますます進歩・発展・向上していくために出来ることを計画・実行し続けます。まだまだ未熟な私ではありますが、日々ベストを尽くしていきますのでご指導の程よろしくお願いいたします。



1990年6月9日
うま
3人ご座
B型

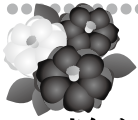
宍粟市に来る前は
神戸市西区に住んでいて
野外活動（キャンプ、登山）
が大好きでした。

30歳を区切りには
新しいことをしよう!!!と
ご縁のあった 宍粟市
千種町鷹巣へ!!!!

ここに来た9ヶ月が経ちました。
本当にたくさんの出会いと刺激の毎日と、千種のあたたかいお家に感謝、感謝の毎日です。

これからもいろいろな
アクションをおこなって
いきますので、
どうぞよろしくお願いいたします。





年末年始と年中行事



光年といふ月日あり冬銀河 松本勝枝

コロナに暮れ、コロナに明けた令和3年でしたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。鬱陶しい毎日ではございましたが、ようやくワクチン開発も進み、展望が拓けてまいったように思います。今しばらく辛抱して感染予防に努め、人類がコロナウイルスとの戦いに勝利する日を迎えましょう。

さて、年末年始は古くからの伝統行事が数多く遺っています。私たちの御先祖様たちが守り伝えてきた日本の年末・年始行事について調べてみました。

・暦（こよみ） コヨミはカ（日）ヨミ（読み）から来ています。日本では古来太陰暦が用いられてきました。それは、新月から新月までの月の満ち欠けの周期を単位としていました。太陽暦に比べて太陰暦は1年の周期が短いために、1年12ヶ月が、13ヶ月になることもしばしばでした。月々の第1日をツイタチ（月立ち）、第15日をモチヅキ（満月）、第30日をツゴモリ（月籠り）などと呼ぶのは、その太陰暦の名残です。今でも12月31日をオオツゴモリと言ったりしますね。

・元旦（がんとん） 新しい年を迎えた人々は静かに家に籠もり一夜を明かしました。それが、正月様をお迎えする大事なしきたりだったのです。地方によっては、各家の主人が氏神様の社に籠もったり、氏子が境内で大火を焚いたりする風習も遺っています。夜半過ぎてその火を松明に移してめいめいの家に持ち帰り、神棚の灯明に点じ、雑煮を炊く火種としました。

・正月様（しょうがつさま） 正月に祀られる神を歳神とか年徳神と呼びますが、「お正月様」と親しく呼ぶ所も多いそうです。千種では「歳神様（としがみさま）」ですよ。その神は正月が近づくと高い山から里へ降りてきて、人々に幸せを運んでくれる神だと考えられていました。

・若水迎え（わかみずむかえ） 元旦に汲む水を若水といい、朝、暗いうちからそれを汲むことを若水迎えと言います。その仕事は一家の主人（年男）の役目です。この水で雑煮その他一切の炊事をしました。千種にその風習はまだ遺っていますか？正月間の家事も女性にはさせず、年男が務めたとの聞き覚えがあります。

・門松（かどまつ） 年の暮れに山から1本または2本対の生木を伐ってきて家の内または外に立てる風習は、本来は年神様が降臨する御神木の意味であったと思われます。門松はお正月様の「依り代（よりしろ）」です。

・注連縄（しめなわ）注連飾り（しめかざり） 注連飾りや注連縄は、神様が占有される場所を、清浄な場所として、他の所と区別して囲ったのです。

・鏡餅（かがみもち） 餅は年中行事や特別な日のために作られます。特に、正月の餅は28日頃に搗き、29日に餅を搗くのは、千種ではなぜか禁忌です。正月を間近に控えて、夜の闇の中に米を蒸す火が赤々と燃え、餅を搗く心地よい音に白い餅が踊りはねる様子は、それぞれの家の幸せの象徴でした。白と杵で正月餅の準備をされるご家庭も少なくなって参りました。鏡餅は神様にお供えする大きな餅で、昔の金属製の鏡が円盤状であったことからこの名がつきました。

・お年玉（おとしだま） 神様が食べる鏡餅と同じ形をした丸餅を、家族一人一人に配ったことがお年玉の始まりで、その餅を雑煮にして食べることで、めでたく一つずつ年をとるという気持ちがあったのです。

柳田國男は年末年始行事について次のように描いています。——正月は「もう幾つ寝るとお正月」という唄の文句にもなって、待つ方の楽しさは人も説いているが、終わった時の名残惜しさの中に、次に楽しかるべき正月の夢を描いているのである。子どもには子どもだけの「もののあはれ」があって、年中行事は子どもたちが、はじめて人生のペースというものを味わい知らされる機会であった。われわれはこの年毎に送り迎える年中行事の楽しみによって育ったのである。

（春名 勉）

参考文献 「年中行事図説」（柳田國男）

「千種 西播奥地民俗資料緊急調査報告」（兵庫県教育委員会）

1枚の写真 ～ちくさの昭和～


右の写真は昭和の終わり頃の正月、千種町内のあるお宅を訪ねて撮ったものです。これ何だか分かりますか？

「歳桶（としおけ）」と言います。大晦日に準備する「歳神様」へのお供えです。中に入れるお供えは家によって多少違いますが米、お鏡、小餅、お金、クリ、カキ、ミカン、豆などを入れて祭込みます。1月11日にお供えをおろして雑煮を作り、歳神様にお供えして、みんなで食すそうです。



皆様の家に眠っている「1枚の写真」を編集部（ええとこセンター）にお届けください。
このコーナーに掲載させていただきます。

ペンリレー 第7回

富田 雅之さん **Q** お仕事はなんでしょう？

オイルリサイクル・産業廃棄物処理・運送業の営業及び現場対応

Q 趣味は？

ゴルフ

Q 今年の抱負は？

自身の責任を全うすること。

**Q** 千種町への思いは？

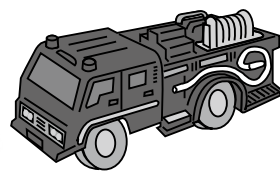
生まれ育った町なので、時代に合ったあるべき姿で残って行ってほしい。

Q 皆さんに一言

いつも大変お世話になっております。
千種の良いところは“自然”と“人”だと思います。
これからもよろしくお願い致します。



栄栗市消防団 千種支団 第4分団 下河野部の紹介



栄栗市消防団千種支団第4分団下河野部は5年前から団員が3人になり、現在も3人で活動しております。
令和元年の下河野自治会の防災訓練時には大勢の方にご参加いただきました。



全国お米甲子園2020 金賞受賞!



千種高校では1学年の「総合的な探究の時間」の授業において、食育の一環としてお米づくりに取り組んでおり、今年で4年目となります。地域の休耕田をお借りし、特別非常勤講師の田住先生にご指導をいただきながら、田植えから収穫までのすべての工程を生徒たちの手で行うと共に、収穫したお米の活用方法等についても学んでいます。このたび、生徒が育てた千種のお米が本当においしいのか?という疑問から、全国農業高校お米甲子園に出品し食味分析等をしてもらいました。相手は農業を専門に学ぶ学校のお米ばかり…、しかし本校のお米は1次審査、2次審査の食味分析計での計測等や味度値測定結果が優れ、最終審査では食味鑑定士によるご飯の食べ比べによる投票で全国2位に相当する「金賞」を受賞したのです。(参加校79校、180検体)

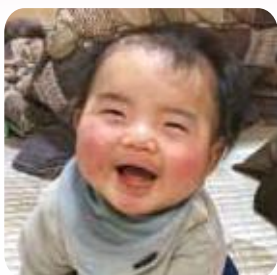
千種の自然や風土(美しい水と空気、肥沃な土壌、寒暖差の大きな気象等)が美味しいお米づくりの基盤となっていることは間違いありませんが、それ以上に1学年の生徒たちが夏の水管理や除草作業などきっちりと行ってきた証であると思います。生徒たちの頑張りを讃えたいと思います。

なお、このお米の一部はちくさ学校給食センター等へ寄付するほか、年末には穴粟市内の道の駅等でも販売し完売しました。



♡ こんにちは 赤ちゃん ♡

赤ちゃん写真大募集!
新しい可愛い家族を紹介してください。



河内
いおか かなた
井岡 叶貴ちゃん

父 勇太さん
母 優さん



【メッセージ】 ニコニコ笑顔が素敵でお姉ちゃん、お兄ちゃん
が大好きな叶貴くん。産まれてきてくれてありがとう♡
優しく元気な叶貴くんになってね!



中島
かなもと ひなた
金本 陽太ちゃん

父 清実さん
母 亜美さん



【メッセージ】 生まれてきてくれてありがとう
お姉ちゃんと一緒にのびのび育ててね!



千草
きなし みらい
木梨 未徠ちゃん

父 勝之さん
母 樹梨さん



【メッセージ】 お姉ちゃん達と仲良く大きくなってね♡



岩野辺
うつみ れいじ
内海 玲志ちゃん

父 基生さん
母 恵さん



【メッセージ】 生まれてきてくれてありがとう!
お兄ちゃんと仲良く、すくすく大きくなあれ!

